

令和7年度第2回長野県観光戦略推進本部会議 次第

日 時：令和8年3月17日（火）
9時30分～10時30分
場 所：県庁3階 特別会議室

1 開 会

2 議 題

- (1) 令和8年度長野県観光振興アクションプランについて【報告】

- (2) 信州デスティネーションキャンペーンについて【報告】

- (3) 令和8年度以降の観光振興について【意見交換】

3 閉 会

令和8年度長野県観光振興アクションプラン

令和8年3月
長野県観光戦略推進本部

アクションプランの概要

▶ 策定趣旨

- 「しあわせ信州創造プラン3.0」に記載の方向性に沿って、令和8年度の各部局の取組を3つの方針に整理し、「令和8年度長野県観光振興アクションプラン」として取りまとめ
- 今後、長野県観光戦略推進本部において本プランに記載の事業の進捗管理・課題共有を行い、取組を推進

▶ プランの位置づけ

県政運営の基本となる総合計画

しあわせ信州創造プラン3.0(長野県総合5か年計画)

計画期間:5年間(R5-R9)

施策の総合的展開 3「快適でゆとりある社会生活を創造する」
3-1⑥ 「世界水準の山岳高原観光地づくりの推進」

共通視点

【目指す姿】

コロナ禍で停滞した観光交流が回復し、観光産業の活性化や地域課題の解決が図られ、暮らす人も訪れる人も楽しんでいる「世界水準の山岳高原観光地」

宿泊税の用途等を明確化した中長期計画

長野県宿泊税活用計画

計画期間:5年間(R8-R12)

【目指す姿】

暮らす人も訪れる人も楽しめる「世界水準の山岳高原観光地」

目指す姿の実現に向けた令和8年度の具体的な取組を記載

令和8年度長野県観光振興アクションプラン

「アウトドア」をメインテーマに推進

【方針①】

観光地域づくりの
推進

【方針②】

「長野県観光」の
プロモーションの展開

【方針③】

インバウンド誘客
の推進

令和7年度の主な取組実績

主な取組実績

◆ 劇場版「名探偵コナン 隻眼の残像」と連動したプロモーション

- 長野県が舞台である劇場版名探偵コナンの公開にあわせて、ロケ地である県庁舎の県民ホールでの特別展示や特設サイトの開設などの取組を実施
 - ▶ 県民ホールコナン特別展示の来場者数(推計): 約12万人(4月~9月:166日間)



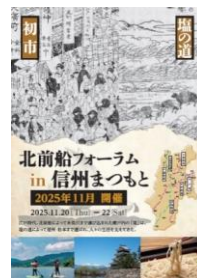
◆ 大阪・関西万博での長野県PRブース出展

- 信州ならではの涼しさ・爽やかさを五感でまるごと体験できるブースを出展
 - ▶ 出展期間: 令和7年8月27日~31日 ▶ 来場者数: 2万人以上
- 大迫力の自然を擬似体験できるイマーシブ(没入)空間や長野県直送の雪に触れる体験を提供



◆ 「北前船フォーラム in 信州まつもと」の開催

- 北前船が瀬戸内の塩を信州へ運んだ歴史から「北前船フォーラム」を松本市で開催
- フォーラム開催とあわせて、県内の街道(中山道、甲州街道、北國街道、千国街道)を巡るエクスカージョンを実施し、県内各地の多様な食や文化、歴史を味わう体験を提供
 - ▶ 開催期間: 令和7年11月20日~22日



◆ 「長野県宿泊税」の導入

- 「長野県宿泊税活用計画」を策定(令和8年2月)
- 宿泊税導入に伴う会計システム改修支援・新規システム導入等支援
- 宿泊税の周知に向けたポスター・リーフレットの設置やデジタル媒体を活用した広報を実施



◆ プロスポーツチームと連携した周遊促進

- サブスクリプションサービスを活用した試合観戦周遊キャンペーンの実施
- 「信州アルクマススポーツ応援団」による県内プロスポーツ応援機運の醸成
- NAGANOスポーツイノベーションフォーラム開催(R7.10月)



今後の施策への活用

- 信州フィルムコミッションネットワークの活動を通じて、他の映像作品とも連携を拡大する(NHK連続テレビ小説「巡(まわ)るスワン」等)
- 作品のファンの意見を基に「聖地巡礼」を促す周遊企画を検討する等、信州DCでの周遊促進に繋げる
- イマーシブ空間のノウハウを活かし、信州DCでも映像を活用した誘客プロモーションを展開する
- エクスカージョンに向けて構築した周遊モデルルートや行程に取り入れた観光資源を、信州DCにおける周遊促進策や新たな観光の魅力発信に活用する
- 宿泊税を活用し、旅行者の利便性・満足度向上に向けた取組を着実に実施する
- 宿泊税の制度概要・活用用途について、旅行者や事業者、県民等に幅広い周知を継続していく
- 引き続き周遊キャンペーンを実施し、複数の試合観戦と、周辺の観光施設への周遊促進につなげる(R8年度は「長野県スポーツオープンイノベーションプラットフォーム構築事業」の一部として実施)

令和8年度の長野県観光振興の全体像

目指す姿

暮らす人も訪れる人も楽しめる世界水準の山岳高原観光地

宿泊税活用計画における目標値【2030年(R12)】

観光消費額(全体): **1兆3,000億円**

<R6年実績> 1兆47億円



施策推進のポイント

- 令和8年度も「アウトドア」を共通テーマとし、「長野県ならではのアウトドアカルチャー」を継続して発信
- 6月から導入する宿泊税や既存財源を活用した観光振興施策により、観光客の満足度・利便性向上に向けた取組を強化

取組の方針

▶ 方針①: 観光地域づくりの推進

宿泊税を活用した施策

以下を主な取組の柱として実施

- ① 長野県らしい観光コンテンツの充実
- ② 観光客の受入環境整備
- ③ 観光振興体制の充実

➔ 令和8年度の宿泊税活用施策は次ページ

既存財源を活用した施策

<令和8年度事業のポイント>

- 山岳遭難防止対策に関する検討会や啓発ゲートの実証事業を実施
- サステナブルツーリズムの国際認証に意欲ある地域の取組を支援

▶ 方針②: 長野県観光のプロモーションの展開

<令和8年度事業のポイント>

- 令和9年の信州DCに向けて、関連イベント開催や周遊企画等を実施
- 地域の観光コンテンツの充実を図るため、観光商談会等の開催や旅行商品造成の伴走支援を実施
- 県内周遊促進のためオンライン予約サイトで販売される体験プランの割引を支援
- 県内プロスポーツチームと連携し、複数の試合観戦や県内観光地への周遊促進キャンペーン等を実施

▶ 方針③: インバウンド誘客の推進

<令和8年度事業のポイント>

- 欧米豪に加え新たにアジアの高付加価値旅行市場を開拓
- アドベンチャートラベルガイドを養成するとともに、質の高いガイドの認定制度を構築
- 文化や風習の理解促進に向けたマナー啓発動画を新たに制作

R8重点的取組①: 宿泊税活用施策

◆ 宿泊税導入の効果が実感できるよう、施策や地域を重点化し、「住む人が誇れる観光地の実現」と「旅行者の満足度向上」を図ります。

R8宿泊税活用額：1,240,130千円

1 長野県らしい観光コンテンツの充実 計：219,177千円

- 自然、文化、食、歴史など、長野県の多様な魅力を
楽しめる観光コンテンツ整備促進 (110,000千円)
- アドベンチャータラベルガイドの養成【観光機構】 (14,705千円)
- 自然公園施設等の上質化【環境部】 (31,172千円)
- サイクリスト向けの拠点や安全な走行環境の整備 (63,300千円)

2 観光客の受入環境整備 計：356,015千円

- 信州観光Ma a Sシステムの構築及び運営 (106,313千円)
- 定期観光路線の新設・増便支援【交通政策局】 (23,098千円)
- 観光地へのアクセス向上に資する旅行商品造成支援 (82,500千円)
- タクシー事業者の配車アプリ導入支援【交通政策局】 (25,000千円)
- 主要な交通結節点における情報提供体制強化や
待合施設の受入環境整備を支援【交通政策局】 (14,000千円)
- 宿泊施設集積地における観光まちづくりの取組を支援 (55,104千円)
- 高付加価値化やユニバーサル化等、
観光客の満足度向上や安全対策に取り組む宿泊事業者を支援 (50,000千円)

3 観光振興体制の充実 計：37,084千円

- 観光業の高付加価値化を図るための人材育成講座の実施 (6,000千円)
- 地域DMO・観光団体の組織力強化に資する、
組織間での人材活用の仕組みづくり【観光機構】 (7,145千円)
- 県内観光団体が観光統計データを共有・分析
するための仕組みの提供【観光機構】 (23,939千円)

4 市町村交付金 計：495,268千円

市町村が独自の施策に活用可能な「一般交付金」と、県が定める市町村が連携して取り組む広域的かつ重点施策に活用可能な「重点交付金」を交付

5 広報等その他経費 計：34,399千円

- 宿泊事業者の会計システムの改修支援 (25,000千円)
- 制度周知のための広報 (9,399千円)

6 徴税経費 計：98,187千円

徴税に係る会計年度職員人件費、納入申告書作成・発送費、税務電算システム改修費や独自課税市町村への徴収取扱費
(宿泊税収入の7%を徴税経費に充当)

その他宿泊税関連事業（既存財源対応）

- ・ 宿泊税活用部会の運営（施策の評価・効果検証等） (628千円)
- ・ 人流データ取得による観光動向分析や交付金の算定 (13,200千円)
（市町村交付金配分の算出のためのデータ取得）
- ・ 観光客に対する満足度等のアンケート調査を実施 (5,139千円)
- ・ インターネット上の宿泊営業行為の監視による
無許可営業の取締り強化や保健指導時等の通訳支援【健康福祉部】 (5,054千円)
- ※ 宿泊事業者の生産性向上等に資するDX投資を支援 (1補：325,443千円)

※ 部局の記載がない事業は、観光スポーツ部において実施
※ 記載の金額は、総事業費のうち宿泊税活用額

R8重点的取組②:信州デスティネーションキャンペーン(信州DC)を活かした観光誘客

▶ デスティネーションキャンペーンとは

- JRグループ6社と地方自治体・観光事業者が一体となり、開催期間の3か月間に集中的な宣伝を実施し、開催地の新たな魅力を発掘・発信することで、全国から誘客を図る国内最大級の大型観光キャンペーン
- 長野県では、過去にH22(2010)年、H27(2015)年に信州デスティネーションキャンペーンを実施

▶ コンセプト等

【コンセプト】

- 長野県は全国4位の広大な県土を誇り、多種多様な魅力(景色・伝統・文化・歴史など)を数多く有する。
- そのため、今回の信州DCでは、認知度が高い観光地だけでなく、これまであまり知られていないスポットや、信州でしか体験できない唯一無二の旅を積極的にPRし、「滞在すればするほど、来れば来るほど好きになる長野県」を実現する。
- こうした取組を通じて、上高地・軽井沢など夏に人気の観光地から、他の地域への周遊を促進する。

【アピールポイント】

- 自然:自然環境を活かした体験型観光を旅行者に提供
- 歴史・文化:伝統文化・建造物など地域のアイデンティティを深く理解し、訴求
- 食:その土地ならではの食文化や食の魅力を発信

【ターゲット】

メインエリア:首都圏・中京圏・関西圏

メインターゲット層:①若年層・ファミリー層(DC期間に夏休みを含む)

②シニア層(県内観光客の半数以上を占める)

▶ 実施期間

令和9年7月～9月の3か月間

- 令和8年同期間: プレDC
- 令和10年同期間: アフターDC
として位置づけ

▶ 今後の事業内容(予定)

◆ プレDC(R8年度)

- 全国宣伝販売促進会議及びエクスカーションの開催
- 都市部での観光商談会開催
- 県外向け機運醸成プロモーション
- 本番1年前イベントの開催や周遊企画のプレ実施 など

◆ 本DC(R9年度)

- ポスターやパンフレットを活用したリアルプロモーション
- WEB広告などを活用したデジタルプロモーション
- SNS拡散キャンペーンなどの開催
- メディア招聘やエージェントリップの実施
- スタンプラリーなどの周遊企画の実施
- PRイベントの開催 など

◆ アフターDC(R10年度)

- PRイベントの開催
- リアルとデジタルを組み合わせたプロモーション など

R8重点的取組③: 信州やまなみ国スポ・全障スポを見据えた観光×スポーツの地域活性化

- ✓ 令和6年4月に長野県知事部局に「観光スポーツ部」が発足
- ✓ 令和10年に長野県で「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の開催が決定

スポーツ振興×観光交流の好循環を促進し、信州やまなみ国スポ・全障スポに向けて地域活性化！

“する”スポーツ×観光

長野県のアウトドア資源を活用した“する”スポーツツーリズムの推進や国スポ等大規模イベントを契機としたスポーツ交流の拡大により、スポーツを通じた観光地域づくりを進め、地域活性化を推進します。

【施策例】

- 冷涼な気候を生かしたスポーツ合宿等の誘致促進
- 県内外の学校登山や登山部の活動を登山案内人の支援で実施
- 山岳総合センターで事前トレーニングや学生への学びを提供
- スポーツイベントを契機に選手とその家族へ観光周遊を提案
- 国スポ等を契機としたスポーツ合宿誘致の活発化

“みる”スポーツ×観光

プロスポーツ観戦や県内のスポーツ施設を活用して、スポーツを“みる”機会を増やすとともに、スポーツイベントを通じて長野県を訪れたお客様に長野県の魅力をPRし、交流人口の拡大を目指します。

【施策例】

- 県内プロスポーツチームと連携し、複数の競技観戦や県内観光地の周遊促進を図るためのキャンペーン等を実施
- 「信州アルクマスポーツ応援団」を活用した県内プロスポーツ応援機運の醸成
- アウェイサポーター向け旅行商品(試合観戦+観光周遊)造成
- 国スポ・全障スポの来場者を対象とした長野ファンの拡大

連携の
相乗効果

一般スポーツ×障がい者スポーツ

一般スポーツと障がい者スポーツを同一部局が所管することにより、スポーツを通じた共生社会の実現に取り組みます。

【施策例】

- 国スポ等において障がいの有無に関わらず楽しめる競技の実施(デモンストレーションスポーツやオープン競技)
- 両スポーツ選手間の交流による競技力向上(体験会・スポーツ大会等における選手への専門的な指導)
- 「パラウエーブNAGANOプロジェクト」の拡大

障がい者スポーツ×観光

障がい者スポーツの振興を通じて、「年齢や障がいに関わらず誰でも楽しめるユニバーサルツーリズム」の更なる推進に取り組みます。

【施策例】

- 障がい者スポーツ大会とユニバーサルツーリズムの連携(ユニバーサルツーリズムでユニバーサルデザイン対応施設の活用・選手へのユニバーサルツーリズム体験)

観光地域づくりの推進 R8年度の具体的な取組

■観光資源・コンテンツの磨き上げ

(観光×スポーツ・アウトドア)

- 民間団体等と連携し県内一周サイクリングルート「Japan Alps Cycling Road」ブランドを構築【観光スポーツ部】
- 矢羽根等の路面表示整備や案内看板設置など自転車通行空間を整備【建設部】
- 県内プロスポーツチームと連携し、複数の競技観戦や県内観光地の周遊促進を図るためのキャンペーン等を実施【観光スポーツ部】

(観光×食・酒)

- NAGANO WINEの県内外での知名度向上と消費・取扱増加を図る取組等を支援【産業労働部】
- 日本酒・ワイン・発酵食品を観光に活かしたツーリズム事業を展開【産業労働部】
- そばの生産から製造、観光・飲食に至る6次産業支援と捉え、「そばと言えば信州」と誰もが思い浮かべる信州そばブランドの確立を目指す【営業局】

(観光×自然公園)

- 美ヶ原自然保護センターについて、来訪者の満足度向上を目指した上質化改修のための基本構想を作成【環境部】
- 自然環境の保護と活用の両立に関する知識を有するエコツーリズムガイド人材を育成【環境部】

(観光×農林(グリーンツーリズム))

- 「農ある暮らし」の相談・体験・学びの機会提供や実践活動の支援を実施【農政部】
- 森林を観光分野で活用する「森林サービス産業」の活動支援【林務部】
- 誰もが親しめる「開かれた里山」の整備や地域活動等での利用を支援【林務部】

(観光×文化)

- 長野県立美術館における企画展等の開催【県民文化部】
- 県内にある国・県指定の文化財の保存・継承・活用を支援【県民文化部】

(その他)

- 「信州ユニバーサルツーリズム」の普及拡大に向け実務人材育成や情報発信を実施【観光スポーツ部】

■DMO等の経営支援

- 観光地域づくりにおける観光機構の研究機能強化【観光スポーツ部】
- DMO等のマネジメント体制強化やネットワーク形成を支援【観光スポーツ部】

■観光関連事業者の人材育成・確保及び生産性向上支援

- 県内宿泊業の生産性向上のため、宿泊事業者のDX投資を支援【観光スポーツ部】
- バス・タクシー等の運転手等の人材確保のため、求職者向けマッチングイベントの開催や就職相談窓口の設置、運輸業界の魅力・やりがい等の情報発信、移住支援を実施【企画振興部】
- 信州ならではの魅力に触れながら移住・二拠点居住を体験する「信州ワーキングホリデー」を推進【企画振興部】
- 生産性向上に取り組む県内中小企業を対象に民間の専門家を派遣【産業労働部】
- 県内中堅・中小企業が取り組む業務共同化に対し実証事業として支援【産業労働部】

■観光地の受入環境整備・滞在環境整備

- 県内の地域鉄道事業者が行う交通系ICカードの導入経費を支援【企画振興部】
- バスロケーションシステム、デジタルサイネージ導入の検討及びオープンデータ化推進の研修会を実施【企画振興部】
- 観光地の景観に合致した森林整備及び眺望確保するための伐採を支援【林務部】
- 良好な景観形成に向け、河畔林や街路樹などのまちなかの緑地を保全【建設部】
- 安全で快適な通行空間の確保、魅力ある観光地域の景観形成、地震などの災害時における円滑な輸送・避難空間の確保のための快適な道づくりを推進【建設部】

■サステナブル(持続可能)な観光地域づくりの推進

- 「世界の持続可能な観光地TOP100」等国际的な認証取得を目指して取り組む地域を支援【観光スポーツ部】
- アドバイザー派遣によりスノーリゾートの再構築の取組を支援【観光スポーツ部】
- 観光団体等が取り組む伝統野菜等の地産地消・食農体験の取組を支援【農政部】
- 県産品や地域のお店を選ぶ意識の醸成、行動変容を促す「しあわせバイ信州運動」を展開【産業労働部】

■観光客の安全・安心確保

- 山岳遭難防止対策に関する検討会や啓発ゲートの実証事業を実施【観光スポーツ部】
- 山の魅力発信と安全登山を推進する信州登山案内人を育成【観光スポーツ部】
- 浅間山をフィールドとしてガイド等の活動を行う人材等を育成【危機管理部】
- 火山防災の普及啓発のため、御嶽山火山マイスターの資質向上研修を開催し、火山マイスターによる火山防災教室の開催を支援【危機管理部】

▶「長野県観光」のプロモーションの展開 R8年度の具体的な取組

■信州デスティネーションキャンペーンの推進

- 市町村・事業者等と連携して全国宣伝販売促進会議やDC開催1年前イベントを開催【観光スポーツ部】
- 都市圏を中心に誘客プロモーションを実施【観光スポーツ部】

■「アウトドアカルチャーの発信」をテーマとしたプロモーション

- 県内の地域プレイヤーと共創しながら、長野県の強み・特色である自然やアクティビティをテーマとしたプロモーションを展開【観光スポーツ部】

■長野県150周年記念を契機とした県内周遊の促進

- 地域の魅力の再発見につなげるため、県内77市町村を巡るデジタルスタンプラリーを実施【県民文化部】
- 子育て家庭を中心とした体験機会創出及び県内周遊促進を目的に、オンライン予約サイトを通じた体験プランの割引を実施【観光スポーツ部】

■魅力ある観光資源を活かした商品化促進

- 消費者ニーズに合致した地域の観光コンテンツの充実を図るため、旅行会社・観光協会等を対象とする商談会の開催や、地域への専門家派遣による旅行商品造成の伴走支援を実施【観光スポーツ部】

■デジタルマーケティング・デジタルプロモーションの推進

- 県公式観光サイト「Go NAGANO」を改修し、AI検索等の導入など機能を拡充【観光スポーツ部】
- 県公式観光サイト「Go NAGANO」の閲覧データ分析機能を活用し、顧客のトレンド等を踏まえた質の高いコンテンツを制作・発信【観光スポーツ部】
- 「ながのファンコミュニティ」の運営やQRコードを活用したアンケート実施により観光客のリアルなニーズを捕捉【観光スポーツ部】

■信州フィルムコミッションネットワークの推進

- 県内への口ケ誘致のため、ホームページの情報・データベース充実や専門人材による営業活動、県内が舞台となる映画の公開と連動したイベント開催を実施【観光スポーツ部】
- 県内担当者のネットワーク構築や新規担当者への研修を目的とした連絡会議の開催【観光スポーツ部】

■観光関連事業者・団体等と連携したプロモーション

- 観光協会・事業者・市町村等多様な主体と連携し、県全体で強力な観光プロモーションを実施する【観光スポーツ部】
- 索道事業者と連携し、県内スキー場の利用拡大に向けたプロモーションを実施【観光スポーツ部】
- R5年3月に締結された連携協定に基づき、沖縄からの誘客促進を図るため、沖縄県内で観光商談会や教育旅行説明会等を実施【観光スポーツ部】

■学習旅行や国際イベント(MICE等)などの誘致推進

- 県学習旅行誘致推進協議会と連携し、教育旅行誘致の働きかけや、受入に当たっての調整を実施【観光スポーツ部】
- 市町村等と連携して県内へMICEを誘致するため、推進員の設置や主催者への事業経費補助を実施【観光スポーツ部】

■国内の販路開拓・物産振興

- 首都圏において、信州ブランドの魅力を高め、発信する拠点として「銀座NAGANO」を運営【営業局】

■様々なコンテンツと連携した長野県観光のPR

- (移住×観光)移住関連サイト「SuuHaa(スーハー)」「ニブンノナガノ」を運営し、将来的な移住・二地域居住先としての長野県を発信【企画振興部】
- (文化×観光)文化芸術情報発信サイト「CULTURE.NAGANO」で、文化施設情報をはじめ、文化芸術催事情報等を幅広く発信【県民文化部】
- (農業×観光)県産農産物「おいしい信州ふーど」の魅力を県ホームページやパンフレット等で広く発信する【農政部】
- (農業×観光)信州の棚田の魅力や棚田の特産品のPRをサイト等で発信【農政部】
- (自然公園×観光)国定公園化が予定されている御嶽山国定公園(仮称)を契機に記念式典の開催や魅力発信等のPRを実施【環境部】
- (インフラ×観光)インフラカード特集記事の発信やスタンプラリーの実施を通じて、発電所やダムといったインフラを活用した誘客を推進【観光スポーツ部・企業局】

▶ インバウンド誘客の推進 R8年度の具体的な取組

■実績国・地域からの着実な誘客に向けた取組

- 国際観光情報発信員を観光機構へ配置しSNSを活用したデジタルプロモーションを展開【観光スポーツ部】
- 海外における発信拠点として、現地の旅行会社等に長野県への誘客を働きかけるコーディネーターを中国、タイに設置【観光スポーツ部】
- 海外の訪日ツアー取扱旅行会社と県内のDMOや観光関係事業者との接点を創出し、具体的な商品造成を図る商談会などを開催【観光スポーツ部】
- 新規ツアーの造成やメディア露出につなげるため、海外の旅行会社やメディア視察を支援【観光スポーツ部】
- 観光機構に学習旅行誘致推進員を配置し、訪日教育旅行の誘致・受入調整を実施【観光スポーツ部】
- 県産品の海外展開を推進するため、輸出関連の展示商談会への出展や海外バイヤー商談会の開催を支援【営業局】

■海外の高付加価値旅行市場をターゲットとした重点的なプロモーション ⇒ 欧・米・豪に加え、アジアの高付加価値旅行市場を新たに開拓

- 新たな旅行商品化につなげるため、高付加価値旅行を取り扱うアジアの旅行会社を招請し、現地視察を実施【観光スポーツ部】
- アジアの現地旅行博に出展し、着地型の高付加価値旅行商品の旅行者へのPRを実施【観光スポーツ部】
- 海外における発信拠点として、現地の旅行会社等に長野県への誘客を働きかけるコーディネーターを欧(独)・米・豪に設置【観光スポーツ部】
- 北米・欧州で開催するアドベンチャーツーリズム※の商談会へ出展し、参加旅行会社等へPRを実施【観光スポーツ部】
- 欧・米・豪の高付加価値旅行者に強い影響力を有するコンソーシアム(業界団体)と連携し、ターゲット層の関心や消費行動に即した媒体・手法を活用し、長野県の多様な魅力や旅程企画の販売促進を訴求する広報宣伝を展開【観光スポーツ部】
- 県が実施する欧米における現地プロモーションへ参加する県内事業者に対し、同行に係る一部経費を補助【観光スポーツ部】

■インバウンド向けコンテンツの造成

- インバウンド旅行者への訴求や海外展開を見据えて、伝統工芸産業の稼ぐ力を向上のため、伝統工芸品の新商品開発を支援【産業労働部】
- 海外における県産品販路拡大につなげるため、海外見本市への出展や現地での長野フェアを開催【営業局】
- 「世界の持続可能な観光地TOP100」等国际的な認証取得を目指して取り組む地域を支援【観光スポーツ部】※再掲
- 自然環境の保護と活用の両立に関する知識を有するエコツーリズムガイド人材を育成【環境部】※再掲

■インバウンド向け受入環境整備

- アドベンチャートラベルガイドを養成するとともに、質の高いガイドの認定制度を構築【観光スポーツ部】
- 文化や風習の違いに関する理解促進のため、インバウンド向けのマナー啓発動画を制作【観光スポーツ部】
- 外国人旅行者と県内事業者との円滑なコミュニケーションをサポートするためにする電話通訳サービスを運営【観光スポーツ部】
- 信州まつもと空港の発展・国際化推進に向け、国際チャーター便の誘致及び国際乗継便の利用促進を実施【企画振興部】

■広域観光の推進

- 他都道府県や団体等と連携して広域観光に取り組む各協議会等へ参画【観光スポーツ部】

※アドベンチャーツーリズム:「アクティビティ」「自然」「文化体験」のうち最低2つを含む旅行形態

信州デスティネーションキャンペーン（信州DC）について

観光スポーツ部観光誘客課

1 デスティネーションキャンペーン（DC）とは

JRグループ6社と地方自治体、観光事業者が一体となり、開催期間の3ヶ月間に集中的な宣伝を実施し、開催地の新たな魅力を発掘・発信することで、全国から誘客を図る国内最大級の大型観光キャンペーン。

2 信州DCの概要

（1）開催時期

令和9年7～9月（令和8年同期間をプレDC、令和10年同期間をアフターDCと位置付け）

（2）信州DCにより目指す姿

- ・R9.7～9月のDC本番で、魅力的なコンテンツや観光資源のPRが行われ、それにより観光客の誘客や周遊が図られている。
- ・キャンペーン終了後も、磨き上げられたコンテンツや広域で連携して取り組む枠組みが残り、さらなる関係人口の増加に寄与している。

（3）コンセプト・アピールポイント（案）

① コンセプト

- ・長野県は全国4位の広大な県土を誇り、**多種多様な魅力（景色・伝統・文化・歴史など）を数多く有する。**
- ・大阪・関西万博でも夏の信州の最大の魅力である「**さわやかさ・爽快さ**」を全面に押し出して自治体参加催事へ出展しているが、そのレガシーを今回の信州DCに繋げていく。
- ・今回の信州DCでは、**認知度が高い観光スポットだけでなく、これまであまり知られていないスポットや信州でしか体験できない唯一無二の旅や体験などを積極的にPRし、「滞在すればするほど、来れば来るほど好きになる長野県」を実現する。** ⇒上高地・軽井沢など夏に人気の観光地から、**他の地域への周遊を促進**

② アピールポイント

- ・**自然**：自然環境を活かした体験型観光を旅行者に提供
- ・**歴史・文化**：伝統文化・建造物など地域のアイデンティティを深く理解し、訴求
- ・**食**：その土地ならではの食文化や食の魅力を発信

③ 実施体制

信州キャンペーン実行委員会（DCの事務局は長野県観光誘客課）

（4）DCの取組の方向性

<令和8年度：プレDC>

信州DC本番に向けて、以下の取組を実施。

- ・県内外でのDC開催に向けた機運の醸成
- ・DC本番でPRする魅力的なコンテンツや旅行商品の造成・磨き上げ
- ・DCを契機に訪れる観光客の皆さまの受入環境整備

<令和9年度：DC本番>

R8年度に磨き上げたコンテンツの発信等を通じて、誘客及び周遊促進を強力に推進。

<令和10年度：アフターDC>

一過性のキャンペーンとしないよう、「DCの取組の振り返り」及び「好事例の横展開」を推進。

<令和11年度以降>

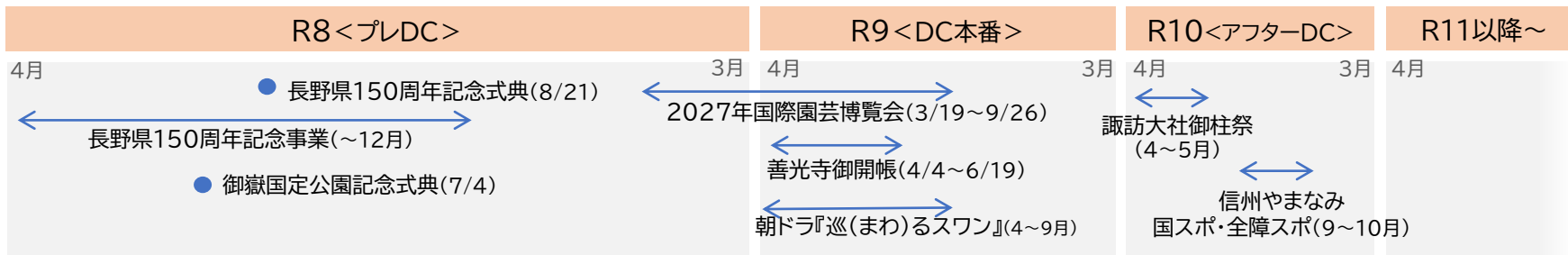
DCを契機に生まれた「広域で連携する枠組み」が定着し、事業が自主的に展開されている。

※ **具体的な取組内容・スケジュール（想定）は別紙を参照**

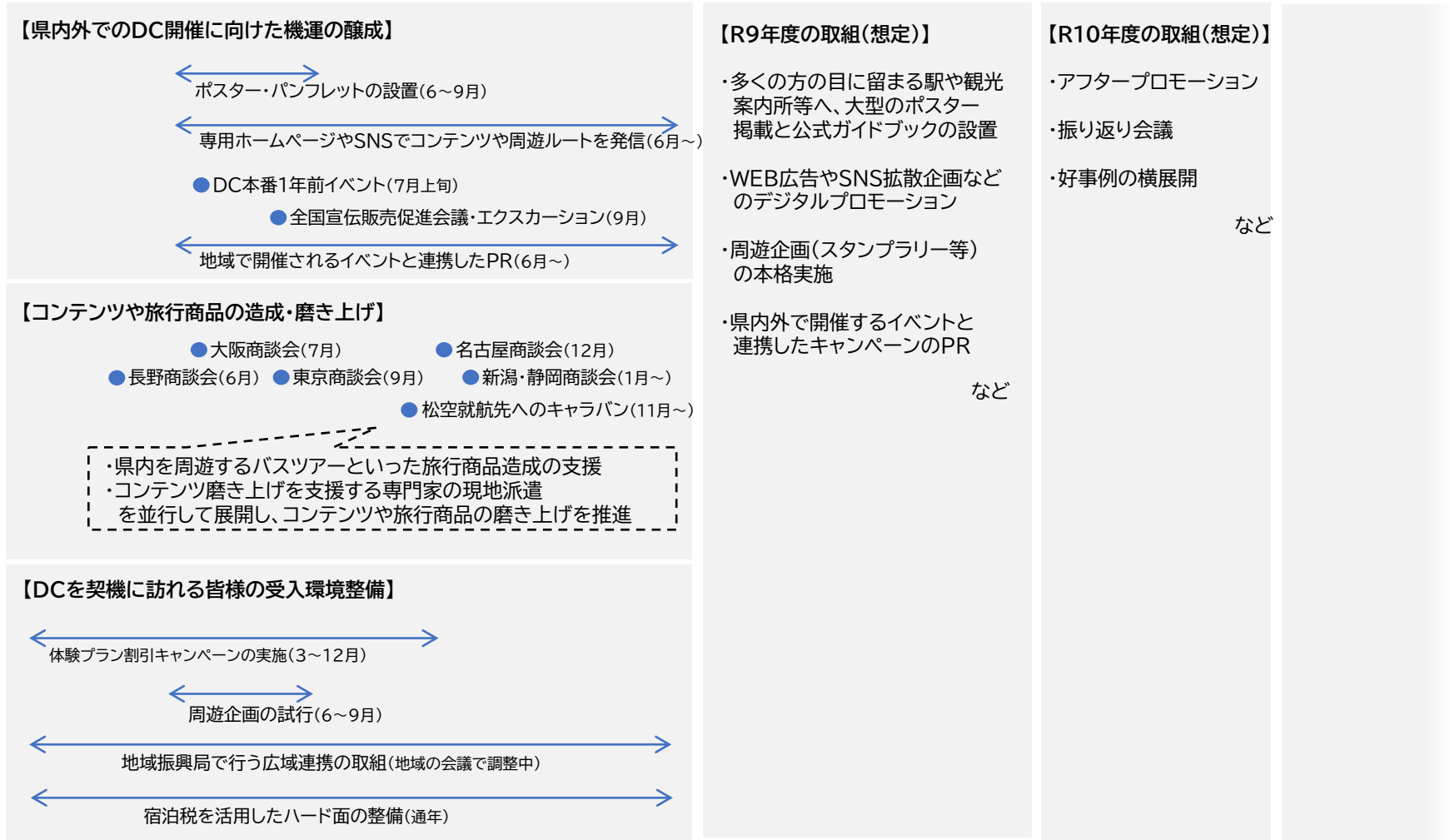
3 各部署及び地域振興局へのお願い

- 各地域振興局においては、ホームページやパンフレット等に掲載する観光素材を収集し、観光誘客課へ提供するとともに、エクスカッションコースの検討に協力いただきたい。（立ち寄りスポットに対する地域の意見を集約し、観光誘客課と一緒にコースを検討）
- 各部署や地域振興局の主催イベントで、DCをPRしていただきたい。（イベントでパンフレット等を配布、イベント情報をサイトへ掲載等）

信州DCにおける具体的な取組及びスケジュール（想定）



大型イベント・キャンペーン等



具体的な取組

【R9年度の取組(想定)】

- ・多くの方の目に留まる駅や観光案内所等へ、大型のポスター掲載と公式ガイドブックの設置
 - ・WEB広告やSNS拡散企画などのデジタルプロモーション
 - ・周遊企画(スタンプラリー等)の本格実施
 - ・県内外で開催するイベントと連携したキャンペーンのPR
- など

【R10年度の取組(想定)】

- ・アフタープロモーション
 - ・振り返り会議
 - ・好事例の横展開
- など

令和8年度以降の観光振興について (意見交換用資料)



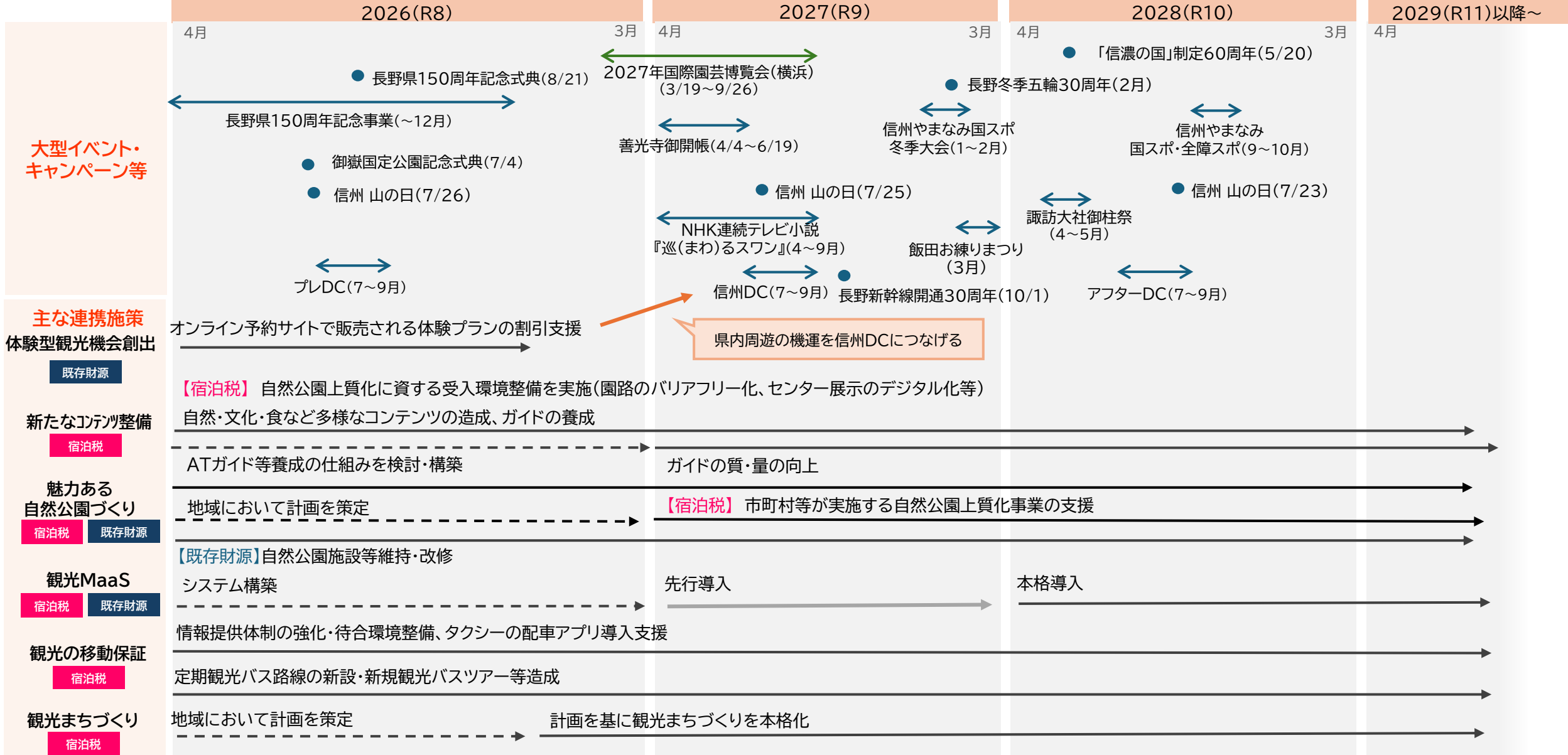
令和8年3月17日
長野県観光スポーツ部



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

令和8年度以降の大型イベント・キャンペーン等と連携して実施する施策

- 令和8年度から令和10年度までの3年間は、立て続けに様々な大型キャンペーン・イベントが実施される予定。この3年間は、これまで好調なインバウンド旅行者の誘客だけでなく、国内旅行者を長野県に呼び込めるチャンスであると考えられる。
- 周遊促進施策を実施するほか、宿泊税活用事業によって観光地の魅力の底上げを図り、旅行者の利便性・満足度向上につなげていきたい。



意見交換テーマ(1) 観光周遊促進

- 令和9年度に実施する信州DCを契機として、地域の観光資源を活かした県内周遊を促進するため、観光スポーツ部では令和8年度に以下の取組を実施予定。

体験型観光機会創出事業

(長野県150周年記念 もっと知りたい! 信州体験割)

【R8予算:479,520千円】

- 子育て家庭を中心とした体験機会創出及び県内周遊促進を目的に、オンライン予約サイトを通じた体験プランの割引を実施

【R8取組概要】

- 実施期間:R8年3月下旬~12月
- 割引率:県民 50%、県民以外 20% (割引上限5,000円)
- 割引対象:自然を活用したアクティビティ・歴史文化体験等

魅力ある観光資源の発掘・商品化促進事業

【R8予算:30,665千円】

- 消費者ニーズに合致した地域の観光コンテンツの充実を図るため、旅行会社、観光協会等を対象とする商談会の開催や、専門家派遣による観光コンテンツの磨き上げ支援を実施。

【R8取組概要】

- 地域の観光資源を旅行会社等に売り込む商談会等を開催
- 地域へ専門家を派遣し、旅行商品造成の伴走支援を実施

プロスポーツ連携事業

(県内プロスポーツチームと連携した観光周遊促進)

【R8予算:18,117千円の一部】

- 試合観戦者の周遊促進を図るため、県内9つのプロスポーツチームと連携し、定額制サービスを活用してお得に試合観戦ができるキャンペーンをR7年度に実施。

【R7取組概要】

- 期間:令和7年10月15日~令和8年3月31日
- 対象:長野県在住者

- R8は、さらに試合会場周辺の観光周遊の促進に向けた取組を強化する予定。



- 一方で、県内にはまだ眠っている観光資源や、観光誘客に向けたポテンシャルを秘めている地域が多い。
- 今後3年間で、さらに強力な観光振興施策を打ち出していくためには、地域の魅力をさらに掘り起こしていくことが必要。

ご意見をいただきたい内容

各部局や地域振興局が把握している観光資源を活かして、今後、観光周遊を促進するためには、どのようなアイデアが考えられるか

意見交換テーマ(2) 観光地域づくり

旅行者の満足度や観光の稼ぐ力の向上に向けて、宿泊税を活用した観光コンテンツの充実や観光客の受入環境整備等を実施



観光地 旅行者の周遊・長期滞在促進のため、長野県らしい観光コンテンツを充実

- 自然・文化・歴史・食など長野県の多様な観光資源を活用したコンテンツを造成する観光事業者、市町村等の取組を支援
- 園路のバリアフリー化や案内看板の多言語化・情報拡充等など、自然公園の上質化を実施
- 地域の特色を活かしたサイクルツーリズムを推進するため、安全な走行環境の整備やサイクリスト向け施設の整備等を支援 など

交通 誰もがストレスなく旅行できるような受入環境を整備

- 信州観光MaaSの構築・運営
- 鉄道駅や宿泊施設集積地等の主要観光拠点から他の観光地への二次交通を充実 など



宿泊・滞在拠点 周遊・滞在の拠点となる宿泊施設の整備や観光まちづくりを推進

- 地域一体となった観光まちづくり計画(仮称)に基づきエリア全体の魅力向上及び上質化に取り組む市町村・DMO等を公募で募集し、支援
- ユニバーサル化や客室の上質化等、宿泊者の滞在環境向上に取り組む県内宿泊事業者を支援

ご意見をいただきたい内容

今後の観光地域づくりを推進するために、上記の取組に関連して
各部局・地域振興局でどのような連携が考えられるか